

第 10 回 教育委員会会議録（要点）

日 時	令和 3 年 4 月 9 日（金）午前 11 時 00 分
場 所	庁舎第 3 別館 2 階 会議室
出席委員	教育長 田坂敏、委員 山本泰正、委員 越智一博、 委員 西原梨乃、委員 仁志川由香里
欠席委員	なし
会議に出席した者の職・氏名	事務局長 山本啓司、総務課長 片上裕之、 学校教育課長 門岡達也、社会教育課長 結田信吾 文化振興課長 波頭健、スポーツ振興課長 松本典久 学校給食課長 越智淑人、総務課長補佐 渡部信一
傍聴人	報道 1 社 1 名
議 題	その他
田坂教育長	午前 11 時 00 分、開会を宣す
田坂教育長	日程番号 1、3 月教育委員会の会議録を承認してよいか問う
—各委員—	承認する
田坂教育長	日程番号 2、会議録の署名委員に、山本委員、越智委員を指名する
田坂教育長	教育長報告を行う。 小中学校の始業式、入学式も無事終わり、新年度が本格的にスタートいたしました。委員の皆様にはお忙しい中、昨日の小学校の入学式と本日の中学校入学式での告辞、大変お世話になりました。 教育長報告でございますが、3 月 10 日の定例教育委員会以降に出席いたしました行事、また、4 月出席予定の主な行事を記載したものをお配りさせていただいております。ご覧いただければと思います。 なお、3 月議会本会議一般質問において、教育委員会にござい

ました質問のうち、私がお答えさせていただきましたものについてご報告させていただきます。

松田澄子議員からは5点ご質問がございました。そのうち、「小中学校の学ぶ環境」に関して、「35人学級の編成に向けて今治市の取り組みについて」と「スクールカウンセラーについて、子どもたちが相談できる時間、相談できる大人の数を増やしてほしい」という2つの質問に対してお答えさせていただきました。まず、35人学級につきましては、今治市を含め、県内すべての市町では、国に先んじて平成25年度より、第1学年から第4学年までの一学級の児童生徒数を35人としている。今後も国や県の動向を踏まえたうえで、学級編成を行って参りたいとお答えいたしました。

また、「スクールカウンセラーについて」は、現在、相談業務を行うスクールカウンセラーを小学校23校、中学校12校に配置し、加えて、ハート何でも相談員や、スクールソーシャルワーカーを配置するとともに、教育委員会としまして、いじめ相談ホットライン、悩み相談室、さらには、県・法務局が開設しております多様な相談窓口も利用してもらうようパンフレット配布など広く周知を行い、相談機会や相談時間の拡大に努めているところであると、お答えをいたしました。

以上、議会報告をもって教育長報告といたします

山本事務局長

3月議会について、村上事務局長から答弁したものについてご報告させていただきます。

まず、3月15日に松田澄子議員から、「小中学校の学ぶ環境について」の質問があり、そのうち3点について、お答えをさせていただきます。

1点目、特別教室へのエアコン設置について、どのように考えているかとの質問があり、特別教室については、授業の実態や稼働率を勘案しながら、財源の確保に努め、優先順位を定めて、計画的に整備を検討していきたいとの答弁をしております。

2点目、学校のトイレの様式化の進捗についての質問については、令和元年度末時点で、屋内運動場を含む小中学校全体のトイレ様式化率は、25.1%であったが、令和2年度末時点においては、30.8%となる見込みであるとの答弁を行っております。

3点目、新型コロナウイルス感染症の影響により、家計が急変した世帯に対して給食費を無料にしてはどうかとの質問については、国の制度はもちろんのこと、市独自の就学支援制度を利用させていただくことで、給食費のみならず学用品費、通学用品費などの学校で必要な費用の負担軽減を図られるように支援をしており、更なる支援の必要性については、他市の動向も見ながら、検討してまいりたいとの答弁をしております。

次に、3月16日、山岡健一議員から、「市長市政方針について」

の質問があり、そのうちの2点について、答弁させていただいております。

1点目、「公民館等の運営について」では、地域住民の皆さんが利用しやすいように日曜日も開館するべきではないかとの質問については、全ての公民館において毎年、利用者を対象にアンケートを実施し、運営上の課題や施設サービスへのニーズ把握等に努め、施設の整備等にも反映させており、開館日・開館時間についての項目においては、おおむね満足という結果を頂いているが、各館における利用者の声により耳を傾けるとともに、休館日に貸し館を実施した場合に発生する人件費や、施設経費その他の課題を精査してまいりたいとの答弁を行っております。

2点目、公共交通機関の通学定期を購入し遠隔地から高等学校等へ通学するための費用助成についての提案に対しては、島しょ部をはじめ、市内全域の通学実態や、公共交通機関の運行状況を把握の上、財源等の課題も勘案しながら、必要な助成について調査・研究を進めてまいりたいとの答弁をしております。

次に、3月17日、谷口芳史議員から、質疑の「令和3年度今治市一般会計予算」のうち「歳出10款2項1目及び3項1目 施設管理費について」は、タブレット端末と通信端末をセットで貸し出すことを考えているのかとの質疑については、通常時は、対面での授業を基本としており、タブレット端末を家庭に持ち帰って使用することまでは想定していないため、従来型の対面指導の重要性を踏まえ、ICT機器を使用した遠隔・オンライン教育を組み合わせた新しい授業の在り方や家庭学習の進め方について研究してまいりたいとの答弁を行っております。

次に、「電子黒板について」の配置状況と使われ方、教員の研修についての質問があり、現在の配置状況は、令和2年度に新たに電子黒板97台を購入し、小学校5・6年生、中学校1年生の全ての普通教室に配置が完了していること、主な使用方法としては、画像の鑑賞や書画カメラを使い教科書や資料・ノート等を画面に映し、重要な部分を拡大・線引きするなど、電子黒板特有の機能を使用し、児童生徒への的確な指導に活用していること、さらに、今年度中に整備が完了する一人1台のタブレット端末と組み合わせることにより、児童生徒から提出された回答や感想などをリアルタイムに表示し、比較・検討したりすることが可能となることを答弁しております。

教職員に対する研修については、今年度電子黒板を配置した学校の担当者を対象とし、昨年11月に操作に関する研修会を開催するとともに、各学校においても授業で情報機器の活用方法を共有するため校内研修を行っていること、また、30歳代、40歳代を中心とした相当数の教員が県主催のICT教育指導教員養成研修を受講していること、令和3年度も、県が行う研修会へ教職員

を参加させるとともに、本市教育委員会においても電子黒板やタブレット端末などの情報機器の操作に関する研修会を開催し、全教職員のスキルアップを図っていくことを考えているとの答弁を行いました。以上でございます。

田坂教育長

質疑はないか問う

—各委員—

なし

田坂教育長

「その他」を議題とする
何か意見等ないか問う

—各委員—

なし

田坂教育長

午前11時21分閉会を宣す

以上、会議の次第を記し、その相違ないことを証するため署名する。

山本委員 山本泰正

越智委員 越智一博